

ひまわり通信

SSKS

No.93



第十四回通常総会 (通算25回) 無事終了!

代表理事 隅 一 清

、今年度の通常総会は、池尻のがやがや館が二月に申し込んだ時点で予約が出来ました。併せて、下の階の『せたがやキッチン』も貸切り予約が出来ました。

当日は、十時からの開始なので九時集合を役員にお願いしたのですが、がやがや館の前の通りが十時まで車両通行不可とかで、事前に世田谷警察署に行つて通行除外車両の申請をして入ったのですが、他の車は何も関係なくドンドン通行していました。

地元の話ですと、平日は保育園や学校があるのですが、土日は大丈夫とか?! 標識にはそんな事は書かれていませんでした。二回も三回も警察に足を運んだのに…。

予定通り十時から開催、進行係は小川氏に議長は實井氏依頼して、第一号議案の事業報告から第五号議案の令和元年度の予算案まで審議、全員一致で可決しました。

来賓の区議の諸氏からご挨拶を頂き無事に終了しました。

十一時三十分から、下の階のせたがやキッチンに会場を移して、懇親会を開催しました。恒例の加藤先生の乾杯の音頭で宴会が始まりました。今回は飲み放題付きで美味しそうな冷酒の一瓶瓶が五本も用意されていました。料理も次々に運ばれてきて、会場は一気に宴会ムードにまつまれました。

今回のイベントは、サニーけあサポートの實井さんに依頼しました。

オペラ歌手の金幸子さんは国立音大の音楽科を出て、多数のコンサートで活躍中の方です。

演奏の大竹久美さんは朝ドラや大河ドラマ等のピアノ指導をやったり、各方面で活躍中で現在は洗足学園音大の講師もしています。普段あまり耳にしなないオペラ歌手の音量はマイクなしで会場いっぱいに広がり、素晴らしいものでした。

今年も四月以降、移送サービス事業は順調に推移しています。今年三月に世田谷区から寄付して頂いた車両のシエンタは、今では八

台ある車両の中で、トップで活躍しています。小型なのに、車イス一台と三人乗車出来るので、何かと利用価値があります。現在、会にある車両で車イス二台と四人乗車出来るニッサンバネット(通称チエアキャブ)が、走行十五万キロを越え、あちこち擦り傷だらけの満身創痍の状態なので、次回はこの車両をなんとかしなくてはなりません。ドライバー達が、会の車両も自分の車と違って大事に乗って、降りた後に周囲を点検して汚れていたら洗う等して下されば、車もきつと喜ぶと思います…。

移送事業は当会の最大の業務ですので、よろしくお願ひします。



絵手紙を愉しむ会



絵手紙の会に参加したい方へ

- ◎日時 毎月第三火曜日 十三時三〇分〜
- ◎場所 下馬ポランティアセンター
世田谷区下馬二一〇一十四
- ◎交通 三軒茶屋から徒歩七分
東急バス祐天寺経由目黒駅行きで
住宅前下車一分

*送迎希望の方は配車します。
 往復で一、〇〇〇円です。
 *必要な道具は会で用意してあります。

ひまわり句会

菅野孝夫 選

牡丹散つて寂しき庭となりけり
 絹さやの筋取る夜のさだまさし
 お結びを径木に二つ梅雨あがる
 電気屋の前に置かれて目高かな
 鯉節削るビートルズを聞きながら

宮澤 みどり

てらてらのおびんづるさま麦の秋

大谷 のり子

観音堂脇の湧水若葉風
 絶え間なき重機の音や梅雨曇
 母留守の木戸の軋みや茗荷の子
 山行プランクリーム館蜜食べながら

小田原 郁代

梅雨晴や傘をバットに子供たち
 葉桜の下に置かれて乳母車
 境内や日傘を差して姉の忌に
 青梅雨の竹のトンネル京の宿
 夏来る飛行機雲を羽田沖

亀井 歌子

子鳥に頬膨らませ親鳥
 夏蝶の低空飛行薄くもり
 梅雨に入るみなとみらい線地下の地下
 紫陽花のはみ出してゐるバス通り
 ワンカップと百合を供へて夫の墓

作田 志津子

図書館の遠見に夏の本立かな
 海近き駅のベンチに夏帽子
 梅雨明けの雲の流れの速さかな
 流行のロングスカート沙羅の花
 清張の本の結末遠花火

行事報告

◎みさと芝桜公園

四月二十一日(日)

今年には群馬県高崎市にある箕郷の芝桜を見に行くことにしました。

野沢を九時に出発して、関越道の高坂SAでトイレ休憩をし、渋川伊香保ICで下車、水澤観音で満開の桜を見ました。

すぐ下の水沢うどんで昼食を食べ、まいたいセンターで買物をして、目的地のみもと芝桜公園に向いました。

午前中は、バスや乗用車の出入りが多くて途中で渋滞するのですが、時間をずらしたのでスムーズに駐車できました。

会場では、キツネの嫁入り行列や踊りなどもやっています。

小高い丘に白とピンクの芝桜が満開に近い状態で咲いています。散策を楽しんだり、お土産屋さんをのぞいたりしてから、再び関越道を走り野沢に戻って来ました。

参加者 三十名



◎新緑の箱根路ハイク

五月十九日(日)

久しぶりに新緑の箱根路を巡る旅を…と企画したら、出発当日の朝に大涌谷の警戒レベルが2になったとかで、強羅から大涌谷への道路が通行止めになり、強羅から大涌谷經由湖尻までのロープウェイも運行停止とか…。

仕方なくバスを箱根関所跡に廻してもらい、急遽関所見学になりました。

その後、バスに湖尻に戻り遊覧船に乗って、昼食場所の箱根園に行きました。

天候にも恵まれ、バスの中からも船からも新緑の山々が見事に見えました。下見に来た時は、桜は満開でしたが、湖面も周辺も一面ミルク色の濃い霧で、何も見えませんでした。箱根園で昼食を頂き、水族館を見学したり、周辺を散策したり

してから一号线で早川に出て、小田原のかまぼこセンターでお土産を買いました。

今回は車イス利用の参加者が八名いたので、ボランティアの方々も車イスの乗降が大変でしたが、彼らが居ないと障がい者は参加出来ないのだから、協力をお願いします。

参加者三十七名



◎古代蓮の里

七月二十一日(日)

七月は中旬だと百合は遅いし、ラベンダーもあまりパツとしないので、今年には久しぶりに行田市にある古代蓮の里に行く事にしました。ここは蓮の花以外にも展望台に上がると、田んぼアートが見られるのも有名です。

ピンクや白の大輪の花が見事でした。昔は黄色の蓮の花もあったのですが、今回は見当たりませんでした。

行田市は足袋の街で、あちこちに足袋工場があるそうです。何年前かに『陸王』というテレビドラマでも有名になりました。

昼食は足袋御殿を改装して作られた、和洋折衷の館で和牛懐石料理を頂きました。

予約の時に満席で断られたので、三ヶ所に分散しての食事になってしまいました。

帰路は吉見町にある『道の駅よしみ』に寄って、買物をしてから関越道東松山ICから野沢に戻って来ました。

参加者 四十名



行事予定

◎九月 納涼屋形船

九月二十一日(土)

久しぶりの屋形船での納涼食事を開催します。船は鮫洲から乗ります。お台場の湾の中で、お刺身や揚げたての天麩羅を頂きます。カラオケもありますので、歌の好きな方はご披露下さい。集合場所は野沢の事務所前で、そこからマイクバスに乗って現地に行く予定です。車イスでの参加も出来ますので、安心してご参加下さい。

記

◎日時 九月二十一日(土) 五時出発

◎会費 一万一千円(食事、飲物付き)

※参加希望者は八月末までにご連絡下さい。



十月研修旅行 一泊二日

信州蓼科高原の旅

十月十九日(土)・二十日(日)

今年の研修旅行は、一泊二日で信州蓼科高原のペンションを利用します。白樺湖のすぐそばにあり、庭先にはリス等も遊びに来ます。バリアフリーになっ

ていますので、車イス利用者でも大丈夫です。私は個人的にも何度も利用していますし、会でも利用しています。

経営者のご夫婦とも親しくしておりますので、是非ご参加下さい。

記

◎日時 十月十九日(土)～二十日(日)

一泊二日

◎行程 野沢～関越道～上信越道小諸IC～懐古園～白樺湖～蓼科高原ペンション泊

ヨソ泊

宿発～八千穂～野辺山～清里～

長坂～中央道～野沢

◎会費 一人 二万円

※参加希望者は九月十日までにお申し込み下さい。※東京都障がい者休養ホームの助成を受けますので参加者によって費用が多少変わります。



編集後記

テレビ朝日の『スーパーJチャンネル高齢者ドライバーの実情』という報道番組に出ることになり、四月の某日、私の愛車?マークIIにカメラを設置され、襟元にはマイク、別の車にカメラマンとADが乗り、一日中撮影されました。私はカメラマンなので、撮る方は六十年撮っていますが、撮られる方は初めてです。

世間では、毎日のように高齢者ドライバーの事故のニュースになっているので、高齢で家族に車のキーを返したのに、合鍵を作って乗っていた人や、私の様に免許を返納したくとも、移送サービス事業上、返納出来ない人とかの話しを三話まとめていました。

五月十七日にオンエアされると、あちこちからテレビ見たよ!との声が入りました。

中には、これを見て当会の移送サービスを初めて使ってくれた方もいました。

七月に免許証の更新手続きも出来、あと三年間は安全・安心を心がけて運転するつもりです。

S記

「ひまわり通信」93号

2019年8月19日発行

編集 特定非営利活動法人

編集責任者 ヒューマンハーバー世田谷 隅一清

住所 世田谷区野沢3-4-18-102

TEL 03-3487-5081

FAX 03-3422-9281

発行人 障害者団体定期刊行物協会 世田谷区 6-26-21 (定価100円)